

月別売上高が分からない場合、年間売上高を用いて申請することもできます。

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。（令和2年2月29日が含まれる場合は366日）

令和2年又は令和元年の年間売上高計 ① 円	÷	365日 366日	=	令和2年又は令和元年の1日当たり売上単価 ② 円	※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。
②で算出された売上単価	× 0.3 =	千円未満切上げ前の支給単価 ③ 円	千円未満切上	1日当たり支給単価 ③ 円	
③ 円	×	時短協力日数 ④ 日	=	当該店舗の支給額 ⑤ 円	※最大7.5万円

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和2年又は令和元年の年間売上高計 ① 円	÷	365日 366日	=	令和2年又は令和元年の1日当たり売上高 ② 円
令和3年6・7月の売上高計 ③ 円	÷	61日	=	令和3年6・7月の1日当たり売上高 ④ 円
② 円	-	④ 円	=	1日当たり売上高減少額 ⑤ 円
⑤ 円	× 0.4 =	⑥ 円	⑥又は⑦のいずれか低い金額	
令和2年又は令和元年の1日当たり売上高 ② 円	× 0.3 =	⑦ 円		
千円未満切上げ前の支給単価 ⑧ 円	千円未満切上	1日当たり支給単価 ⑨ 円	※最大20万円	
⑨ 円	×	時短協力日数 ⑩ 日	=	当該店舗の支給額 ⑪ 円

※様式1-1に記載の日数

※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が18.75万円を超えるか確認してください。

上記内容で申請します。